



九曜文庫



假名文字遣

をいひまへいひ
かわはむらふ

系統中於之

卯家

家集拾遺愚草其法書と

祖父の因系目

干時
太常

親行も能くしげり時親

行ヤてししなるかえんいひあゆみ其の

よひよりあゆまのあゆみしを字れん

まかひしをいひしはつるけ次とて後学する

あゆみしをいひしはつるけ次とて後学する

日本よのあゆみしはつるけ次とて後学する

おぬれ分半出して可をいひしはつるけ次とて後学する

け流をいひしはつるけ次とて後学する



假名文字遺目録

一 正 正とを借小

二 江 江衣平枝縁
江得柄

三 一 通邊 通邊部
通人

四 心 作已夷意異美
心怡

五 波 心保帆補
浦南昔暮

六 は 入ハをを波端
葉半半頰

七 了 字印得有羽胡

八 端 中 中

九 端 中 中
奥 奥
奥 奥

一 不 不於尾鳥確呼

二 志 志東衛書管取惠
畫

三 比 比節日非此飛部
比辭肥

四 乃 井居遠為秀成園
己王知倭悔往結

五 木 武元無也無余年
夏

六 不 多奔始婦存存不
凡

一 端ハ 中元 奥忌
 一 定家卿に傳二人丸秘抄

一 在 総括をいふや

なごころ 女倍美

なごころ 崗羊 忍志洋子 万葉に見

くしのこ 懐香 木 白木 蒼木

とろろ 小藤 ナラタキ 棘 棘日 藤

あさね 麻帝 糸 糸 糸 暁 宿

なごころ 龍期 海産 業 荒

あさね あさね 跡 収 産 馬 吉 俗 用

あさね 防己 糸 糸 糸 馬 果 重 重 吉

しせし 色 産 業 糸 糸 糸 喜 柳 又 催 言 一 名

なまのし柳

玉枝柳
玉小柳

なまのし木

玉枝木
玉集アリ

なまのし

生橋

なまのし

雷下

なまのし

枝折

なまのし

新

なまのし

蝉始 霜 飛 踏 踵 日

なまのし

なまのし

なまのし

櫻標 万葉

なまのし

逐風

追風

なまのし

置橋

なまのし

無小止

なまのし

置橋

鷹呼

高ヨフトヨム

なまのし

赤田

なまのし

小山田

なまのし

吉野山

なまのし

小倉山

なまのし

隠暗

なまのし

小塩山

なまのし

小野山

なまのし

小倉山

なまのし

岩倉小野

なまのし

道里小野

なまのし

小栗栖

なまのし

吉母吉平

なまのし

花名

なまのし

小志浦

なまのし

浦

北舞

押照

なまのし

真中川

なまのし

真長

なまのし

吉野

なまのし

緒終橋

なまのし

玉緒

なまのし

界ノウラモ

とくしり 怠懈惰 ときふ 矜奢驕
 ときふ 送贈遺 くのち 窮屈頹
 とくく 勸怖惶怒戰舩
 わくわく 作麻 ときふ 踊躍 繕者
 ときふ 奢驕侈 ときふ 襲
 のよきり 麗憲 ときふ 劫排
 ときふ 喝 ときふ 威蹶
 ときふ 儺追儺 十リ
 ときふ 鬼 ときふ 几
 ときふ 紳 ときふ 貫酒 儺典

くく 鞞鞞 鞞置 鞞
 ときふ 及 暨 泊 章 逮 追
 ときふ 遠遼 ときふ 遠眺
 ときふ 仇 ときふ 音信 音
 ときふ 終 早 純
 ときふ 追逐 ときふ 坐居
 ときふ 推駕 マナシテ ときふ 推量
 ときふ 排 ときふ 押並
 ときふ 等用
 ときふ 百千 返鳴 十リ

とら、匹 遠近 とら、しき 趣

とら、こ 遠方 水衣 目 兒 彼方 コチカラ

とら、り 教 とら、り 教卷

とら、り 雄 とら、り 懶損 川

とら、の ところ とら、の 雄呂の初尾 一尻

とら、の ところ とら、の 雄呂の初尾 一尻

とら、の ところ とら、の 雄呂の初尾 一尻

とら、の ところ とら、の 雄呂の初尾 一尻

とら、の ところ とら、の 雄呂の初尾 一尻

とら、の ところ とら、の 雄呂の初尾 一尻

とら、の ところ とら、の 雄呂の初尾 一尻

とら、の ところ とら、の 雄呂の初尾 一尻

とら、の ところ とら、の 雄呂の初尾 一尻

とら、の ところ とら、の 雄呂の初尾 一尻

とら、の ところ とら、の 雄呂の初尾 一尻

とら、の ところ とら、の 雄呂の初尾 一尻

とら、の ところ とら、の 雄呂の初尾 一尻

とら、の ところ とら、の 雄呂の初尾 一尻

とら、の ところ とら、の 雄呂の初尾 一尻

鶴尾 車具 輻輳

とら、の ところ とら、の 雄呂の初尾 一尻

とらぬつゝの織り目

とらぬつゝの織り目

からとし 勝臣 古集 作者

とらぬつゝの織り目

とらぬつゝの尾張國

とらぬつゝの思澤

なましのふ 隠岐玉

りんとん 安穩

なましのふ 思海

とらぬつゝの十拾

てふとこのと

とらぬつゝの 大常 大常 寺町 大常

あまのつゝの 橋生 垣田

二 小尾

かたけいりや

空屋

山のたけ

小奥

おまのつゝ

まのみのか せう水尾水ノミツ水尾水深水深水ノ水池

おまのつゝの風 山ノ風

おまのつゝ 奥山 山ノ風 大い

あまのつゝのま 大い 禁裏ノ名

おまのつゝ 男山 大い 名

いあのみま 目尾山 大常寺ノ時作院ノ名

あまのつゝの 赤尾山 尾上

ひい 一尾 一尾 老常杜

あまのつゝの 冥潮大海 老常杜 邑樂社 上野各

あまのつゝの 生浦 老常杜 上野各 細

おき 真 万葉息 細玉等 眞鏡

おき 井川 大壺川 大井川

おき のし 息川之邊 大壺川

おき のし 大壺川 妙善水

おき のし 洪水 大壺川

おき のし 岩切通

おき のし 落石

おき のし 明麻

おき のし 前縫

おき のし 晩田 晩指

おき 葉 落葉 秋葉 眞鏡

おき 葉 船行 船

おき 葉 車前草 車前草

おき 葉 葛方草 澤馬

おき 葉 白頭花 白頭花

おき 葉 赤穂十 赤穂十

おき 葉 赤穂屋 馬高

おき 葉 蕙草 小苑 尾苑

おき 葉 生草 生草 生長

おき 葉 康大麻 振物

わひけ 倭老繫冠 かしひびり帯 帯紳

おきし 敷史記席日中記遊巾云ハ寝衣也

たらのおひころり 太刀鞆鞆

あしはく 鞆結頭 かしころ 羈

あけこころのけし 桶 かしころ 箴長 箴具足

おきし 少羅指 おしころ 以酒食

あしはく 博士 漢王之叙天下欲礼之所者倒

白告也之同名少博士

あしはく 虎子 采照し かしころ 温石

あしはく かしころ 取櫛面提

わねと 馬橋 磁社 かしころ 耜耜 真束

おきし 無駝 無光束

あしはく 大都凡 かしころ 大概 櫛十太子

おきし 大方 かしころ 御座

あしはく 不駝氣

あしはく 鏡

おきし 縁指 縁指

あしはく 競

おきし 惜

あしはく 餘波指

ありし 境節 折衷 ありしと 同筆
 ありし 可嘆 ありし 確據 思記 在
 ありし 穂 ありし 少
 ありし 大 ありし 既既 既既
 ありし 通達 微 ありし 人なり
 ありし 名負い 去来 念同 いものよりい
 ありし 右近 ありし 目 ありし 目
 ありし 鳴呼 作務物 あり
 ありし 推押 抑 駕
 ありし 慮 ありし 惟以

ありし 於縁 サタミラサレナリ
 ありし 以爲 ありし 想像
 ありし 思起 ありし 襟畏
 ありし 思憶 想以 勝念 惟
 ありし 思食 ありし 作課 役
 ありし 河容 真教 作 河極 起心
 ありし 趣赴 ありし 把履 掩蓋
 ありし 望 ありし 祥
 ありし 負也 ありし 隔
 ありし 既深 遊 ありし 典刊 面敷 化

おまは 延懼煉壇既威愚畏

おまは 敗廢械 ねらゆり 落く落魄潦倒

おまは 零落 おまは 覺首

おまは 表 くくおろも 統鞍

おまは 下跡 おまは 帯佩

おまは 治業守致重修理収納

おまは 梶 人よおあて

おまは 去年 おまは 一瞥

おまは 優日中花 鞆了円通年 曰上
禁制日長 日軌制日治日 曰下サレ

おまは 馬族

おまは 馬碧滄 おまは 山嶺抗

おまは 愚 おまは 叟翁

おまは 壁男 スリキキ
人トモ おまは 怖畏

おまは 雲下 志川のあま 賤男

おまは 負 おまは 童

おまは 御 おまは 水面

おまは 相生 おまは 下葉

おまは 起后伏 おまは 單

おまは 銭柄

おのて 己

おの 飯炊

おのゆめり（高尾上） 随分（サラニト云）

おのあま（おの） 愛 面麗

おのあま 憶

おのこま（おの） 家美

おのまき人 起人 同上

おのいり（おの） 志 先過

おのころり 生立 雅人サ日 幼ラサニ神

おのこ人 侍者 文筆侍 著内記有也

おのこ 乱髪（十金師） 新真上人

おの 姫名（妻名） 願

おのし 祖母 娉婦

おのあ 長女（見又記） 親子 父子

おのし（おの） 兄（おの）

おのあま 公 人王（天皇）

おのあま（おの） 直家 小大君（故格建）

おのあま（おの） 大官 大臣（大臣）

おのあま（おの） 大臣（大臣）

おのあま（おの） 大臣（大臣） 馬場（馬場）

おのあま（おの） 夜殿 殿

大倉人寮

大炊寮 大炊門

陰陽寮 星骨 文集

東文坊 長

御路 日記

四重田長

大炊門

大隅國 忍歌

音歌 権議

大和 十二夜 晴庵寺

大直は 今秋 樂曲古今集 二

大直は 今秋 樂曲古今集 二

真教起作 妙

鷺 直下

三日月 是秋

大直は 今秋 樂曲古今集 二

大直は 今秋 樂曲古今集 二

大直は 今秋 樂曲古今集 二

大直は 今秋 樂曲古今集 二

ほりえ 馬の くらへん 志望入の

友らのむえりり 友の玉の著 歌の者あり

はらえれ作 葉向の作 ありのくありえ 牛浦の枝

えやいりあきのくしりま 敵の作吹花高下 徳田名和

ひのえ 梅枝 催馬示 并 湯田物落

まらえ 立枝 ありえ 沈枝 くの枝

わつえ 木葉 百葉 合枝 少向え 右枝

すしえ 橋 ありえ 小枝

木葉れえり 枝除村 支 采 多し

えの本 枝 ひとしえ 藤 藤の

しえりり 葛 ハエテ 葉出 ありの本 柏木

こえりのり 五枝 五葉

えりぬ 艶 ありりあ 得不知

えりり 垣 ありて 縁

あり 吠 ありあれ 縁

ありの身 ありえり ありえり 随

ありえり 弱 ありえり 意衣香

ありりり ありえり

ありえ 浪年 ありのし 井 横葉井

ありえり 炎天 ありりり 所 所

かろろ

柔れかろ

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

かたかた

多入 燕脂 绿色具 かしき 前黄

すくも 宿臞 師 多そと 身棍

之ひと 浮因 凶奴 振夷 南臺 小狄 夷狄 衆

寧夷 東夷

多しひしとく 侵優 堅塞

之あえ 瘧病 之ひ 胞胞衣

たふえ 吮結 喉吮 多そと 岐人 師 岐 罽 奚

清つるきと 支顯 其文 ありなき 塞

多しく 塞 敗 ありき 力 徳より 肥満

きえと 消 霜 雪 灯 あり 霜 日

こえと 猷 超 躰 不 淨 して 覓 首

見して 見 覽 歴 看 觀 視 罔 披

きと 同 總 ありて 本 辛

こえと 薄 意 獲

多しれ 獲 風 ありて 凍 河 寒

こえと 寒 凍 ひとく 冷 終

ひとよの 冷 物 思ひ ありて 下 暑 物

しと 無 見 日 中 紀 後 無 業 未

多しとぬ 教 弟 去 教 日 中 紀

こえとぬ 不 得 之 ありて 醉 酒

とくまのりてあつり 佐田物産ニアリ

うらたのれはとれりてふよ 杖町度万葉ニアリ

あそぢまのり 無益 ちんかろりて 艶佐田物産

このりて ちんかろりて 栄汗

あそぢまのり ちんかろりてふよよちんかろりて

あそぢまのり 貴弊

とくまのり 貴弊 涙お

とくまのり 選文撰物物擇 ちんかろりて 臥た鶴

あそぢまのり 伎シ儒 きんかろりて 金葉集

きんかろりて 玉葉集 九曜星

とくまのり 七曜星 すいこき 水驛

あそぢまのり 嬰孩 ちんかろりて 美美耀

とくまのり 道達 ちんかろりて 霸飛三十三十三

とくまのり 安須 ちんかろりて 息

とくまのり 厭却 ちんかろりて 交文

とくまのり 掲手 ちんかろりて 演説

あそぢまのり 飛旗 ちんかろりて 延曆寺

あそぢまのり ちんかろりて 道祖神

あそぢまのり 丙下 ちんかろりて 夷千鳥

あそぢまのり 同波提 ちんかろりて 下 梅緒見公

四 点 惠 点 庄 末 會 警 け 点

二 点 点 相 点 庄 末 會 警 け 点

少 点 点 行 末 宿 点 庄 末 會 警 け 点

少 点 点 平 末 季 点 庄 末 會 警 け 点

点 点 笑 咳 点 庄 末 會 警 け 点

二 点 点 敬 喜 点 庄 末 會 警 け 点

二 点 点 肥 点 庄 末 會 警 け 点

点 点 火 塙 燒 火 点 庄 末 會 警 け 点

二 点 点 二 点 点 庄 末 會 警 け 点

点 点 餅 袋 鷹 点 庄 末 會 警 け 点

塙 の 二 点 狗 搦 点 庄 末 會 警 け 点

二 点 馬 の せ ら 点 点 庄 末 會 警 け 点

二 点 点 二 点 点 庄 末 會 警 け 点

点 点 新 葺 會 点 庄 末 會 警 け 点

二 点 点 奉 坐 位 居 点 庄 末 會 警 け 点

二 点 点 柱 礎 点 庄 末 會 警 け 点

二 点 点 馬 全 也 点 庄 末 會 警 け 点

二 点 点 半 夏 点 点 庄 末 會 警 け 点

二 点 点 槐 点 庄 末 會 警 け 点

二 点 点 木 槌 子 点 庄 末 會 警 け 点

点 庄 末 會 警 け 点

点 庄 末 會 警 け 点

点 庄 末 會 警 け 点

点 庄 末 會 警 け 点

点 庄 末 會 警 け 点

点 庄 末 會 警 け 点

点 庄 末 會 警 け 点

点 庄 末 會 警 け 点

点 庄 末 會 警 け 点

点 庄 末 會 警 け 点

点 庄 末 會 警 け 点

点 庄 末 會 警 け 点

点 庄 末 會 警 け 点

点 庄 末 會 警 け 点

点 庄 末 會 警 け 点

点 庄 末 會 警 け 点

点 庄 末 會 警 け 点

点 庄 末 會 警 け 点

点 庄 末 會 警 け 点

点 庄 末 會 警 け 点

点 庄 末 會 警 け 点

点 庄 末 會 警 け 点

あり えり 歌一本(集)

あり えり 丹書伝文集

あり えり 書

あり えり 寒五集

あり えり 日えり 映日

あり えり 怨

あり えり 未松山

あり えり 信得待得

あり えり 玫瑰七宝千

あり えり 宋元物終十帖宋深忠門作

あり えり 書業 えり 乾机

あり えり 和漢別海集宋大祐云作

あり えり 未搗乳宋物終よけ名アリ

あり えり 衣服 あり 智恵

坊 穢ケカ 産觸 あり 烏帽子

あり えり 誘 あり 鞠繪

あり えり 懐敗 あり 會尺

あり えり 會和 あり 春属

あり えり 廻向 あり 幼雅

あり えり 栄耀 あり 縁一命

あり えり 道祖神

あり えり 神坂 あり 神中

あり えり 神糸 あり 惠應神

あり えり 後惠神

五一人 禪 追 返 遍 經 部

ありのまの 後山 かの 栢 柴

かゝるゝ 八重 梅 魚 けし 八重 藤

らいろよゝろゝ 千尋 草 玉 葛

りのりゝ 羊 又 イキトモ 鶴 鶏

こぢり 早 苗 栽 植 本 草 置

しゝ 籠 鳥 蠅 虫

しゝのゝ 蛆 蠅 虎

しゝのひ 蠅 拂 白 拂

のゝ 蛙 蟾 蝦 蟻 蟻

しゝの 蚪 蚪 浮 化 卵

あつ 鶴 鶯 衣 鳥 全 鷓 夜

のゝ 鴨 家

あつ 給 比

あつ 守 凡 蟬 織 延

袖の 袖 上 劫

あつ 博 改 易 更 換 替 代

あつ 長 久 礪 石

あつ 表 梅

かて 鷓冠木
くく 片道
ひく 右
ひく ね
うく 網
あく 唯擬
うく 押抑
うく 笈重
うく 主女
ひく 早衣

うく 持
すく 居扣
のく 延
うく 遠
うく 備
うく 候
うく 省直初
うく 愈業
うく 袍袂衣

うく 塾 補真
あく 鼎
あく 喘
あく 壺
あく 不敬
あく 返
うく 顧顧
うく 痼活
うく 耕
ひく 偏

あく 敷妙枕
あく 喘息咳
あく 壺
あく 教
うく 及婦
あく 返
うく 覆倒
うく 實
うく 九重
うく 無燈方

て有り 者 教訓

くさりの 濕露露 愁憂憂

くさりの 飢 饑

かひこころの 飢極 酔

くさりの 地任地 耐

多をも 不地 雖

そのころ 云言 棘藪

まふころ 前後 面縛

あつて 坂 寛危

あつて 刺腹 明日今日 副

かひこころの 新副見 津故

このころ 赤中東 鎮

とねの 饑 賢

いけの 牲 六月後 荒和後

あつてのころ 荒和後 六月十月 西後

あつてのころ 姉上死上 秘解

いけの 膚 六月十月 西後

あつてのころ 思念憶 惟以想

あつてのころ 主婦記 傍冷側

あつてのころ 白 采富

あつて 白妙 中々 以余苑

くく 栄絶 光見 多々 譬喻興縦

くく 心緒 意見 目印

くく 辨 二 同訊

くく 答対応 しく 唯

くく 叙平杖打度 万葉

くく 打儘 神々 打緒振日

くく 新頁 六

くく 鈴傳 海ありの奇く

くく 布れ延曝

ゆり 振延 官仕 震

ゆり 仕 所

ゆり 込 啜

ゆり 唱 色交練

あま 年辛 年若

あま 与天 准

あま 添副 倫進

あま 傳施 池

あま 准擬

あま 貯資 蓄

まきくそ はん 類彙属比

このかへ 足部 げんごん 倭子章下

かすのりま 五斗歌 ひまごすて 馬后

かたのろん 鼎后

六 ひ 飛む け比日大悲北鄙

よらひけり 流星 奔星

まらよひすきて 待宵色 つらあひ 晚鐘 黄昏

つらよひの月 不知夜月 不知懸一

あふひ 好生 三月 姑洗

あふひ 上候 西心魚 みりあひ 浪深一

あふひ 葵 ともあひ 海菜

すひのき 忍冬草 小ひひま 秋

まひのけ 葦高 葦一草

こまひ 特牛 くのこ 寫 書

まつらひ 電蒲 少ゆまひ 翔多

こまひ 鯉鮎 ありひ 鮑鞍石鏡

あふひ 貝綿 かに 貝

あふひ 貝柄 へひあひ 貝覆

あひ 雲 蟹 ころひ 鏡 鉾 甲冑

魚のこひ 魚の 豚 筋 葉 胡 録

人々こひ 人 遠 少 風 よ き こひ

ひよきこひ 糖 物 装 束 地 衣 等

ひねりこひ 雜 遊 髪 髻

まひり 褶 延 長 式 見 女 房 の 上 着 等

しひすこひ 掃 墨 灰

たらひ 濫 水 海 平 洗 俗 用 之

うかひすり 漱 仁 子 中

かひけ 搔 背 損

おろこひ 足 穿 篩

おそろこひの 疏 布 食

くひり 剋 燧 飯

こころこひ 強 飯 蒸 飯

かききこひ 饗 饋 續 飯

あまこひ 價 直 高 臺 突

よこひ 終 下 魂 魄 神

よこひ 婿 嬪 娶 夜 這

みよのまこひ 合 交 支 婦

やいひ 盲 翳 聾

ひびこひ 額 時 時

ひまこひトモ

孫ひ人 年類人 日中記 洞人本云也人
 あひらと 心持人 王ひ人 徳人
 まひ人 伶人 舞人 人のまひ 氣 日中記
 うひと 福言 人のまひ 癩相
 まらひ 侍候 つひ 使
 むらひ 典馬 妻 むひ 姪
 あひらと 妯娌 びひ 當腹
 包ひらと 養子 子まひ 養育腹
 けらひと 療治 ずらひと 習教
 ずすらひと 准擬 らひと 用庸

らまひと 敬 すらひと 濟救
 孫ひと 願希 樂真慕
 まらひと 禁呪 ひらひと 拾
 らひと 悔 わらひと 争
 ららひと 秋住裏 ららひと 本定 終月也 色也
 わひと 逢會 遇合 并併 遭值 相違
 らひと 縁 係 備 副 ららひと 病吊
 ららひと 随 肩 從 順 年 遠 行
 ららひと 解 花 脱 釋 ららひと 醉 酒
 ららひと 回 汎 ららひと 喰 食 舖

あつひて	味	あつひて	誓盟
ちひて	遠達	ちひて	同上
ゆひて	婉轉	ゆひて	迷惑
まひて	行絡繹	まひて	漂落
くちひて	戦闘陣合ナリ		
くちひて	震奮揮劔		
うらひて	疑媿	うらひて	失喪
あまひて	賑	あまひて	洗濯浣曝
かちひて	語談話謂		
くちひて	類比彙	くちひて	桁格

すまひて	肩解	すまひて	相撲
あまひて	病疥疫疾		
はひて	高年一結齋	はひて	競
いひて	祝業	いひて	業外
いひて	境界	いひて	假令假能使
いひて	務成	いひて	白
いひて	活	いひて	料理補
いひて	霑潤	いひて	基
いひて	遙送手	いひて	笑禍殃
いひて	煩累	いひて	人知

おゆいし おゆいし 糸

あひい 交

とひいせ 追風逐丸

ゆめい 脚船

とひい 蓋

たまひて 給

うまひ 叶

あひて 慕

すまひい 栢居

あひて 愛

あひい 中活長活

あひい 通活

とひて 於

まらい 糸 日麗文

あひい 習生

まらい 行

あひい 安忍

こまい 今宵

あひい 狀

あひい 慧陽寺

ひい 向

うまい 潔

うまい 秋

あひて 泣

あひい 一瞥

うまい 垂髪

あひい 唐多希 意慕真

あひい 這後 此の如き 光

あひい 思念憶想

あひい 或

あひて 生

あひい 宮内

あひい 結

あひて 續給

あひい 比黎

あひい 意

あひい 謂

あひい 同際頃个固

仁知うに 平夷坦一途

とみひよ 吾為 日切記ア千キトモヨム

つひあう 音雙 りひし 小舟

さしう 副卧 てすうひ 多読

そのひいしとゆえ程 終其報ッ程副辨時償

うゝおむらりひひりれ 梅苑散遠陰 在令集ニリ

お〜うすうひうひりり 可嘆荒涼全經云凡吹荒

毛待云海物よりより

三ひい 媚風姿 ねふひりれ 嫉妬

くさひやす 渡申 うう〜ひやす 窺申同候

ひ〜うひ 馬食 甲斐國ニリ万葉

七 い伴以已夷意具異

つらら 雷 らら 日上

ひひの 電 りぬひり 牽牛

つらひれ月 不知月 不知懸

つらよみ 能細浪 りしや 窟

つしが 巖 りし 磐

つら 石 りれり 細石 礪

つら 沙砂 いそ 礪

さい 泥塗 一ふし 紅梅

つらぬの木 榎木 からみトモ

ひいろり 平栗 せいのり 額栗 ヒタツト

くろめり 栗刺 林大境

らひらり 稚海産 海産 います 藪 海草

いし 羊蹄嶋 くのり 日上

いしの 羊子 いし 藪

いし 月上 いまのり 暮顔

いし 羊躰 いらひ 商泉

いし 覆盆子 いし 虎杖 陸杖

いぬ 遊蕪 苧草 大蓼

いぬ 知母 けい 荊芥

いぬ 蟠娘 いらひ 蕪

いぬ 豚脯 鯨鯨

いぬ 野茹 いまのり 臭下

いぬ 臭吃 いまのり 惣臭

いぬ 蕪 いまのり 英海胤

いぬ 貽貝 いまのり 文蛤

いぬ 鴿鳩 いまのり 鵪鶉

いぬ 指負鳥

かきれい 鶺鴒

くさくさ 鶺鴒

くさくさ 卵

くさくさ 特半

くさくさ 骨

くさくさ 兎拍大作子

くさくさ 鳴嘶馬

くさくさ 成方

くさくさ 頂人

くさくさ 額

あいらい 氷多 西寄

えいせい 産賊 劫之

くさくさ 鼠狼神

くさくさ 犀

くさくさ 大倉狗成

くさくさ 乾

くさくさ 嘶馬

くさくさ 率大

くさくさ 巔之

くさくさ 雲胎

いかに 暫

くさくさ 小子

くさくさ 人

くさくさ 霧鬼

くさくさ 嬰飯

くさくさ 條楚刻

くさくさ 醴酒

くさくさ 對

くさくさ 覺

くさくさ 柱礎

くさくさ 為養

くさくさ 送人 整齊

くさくさ 敏人

くさくさ 犠牲

くさくさ 菜柳

くさくさ 索餅

くさくさ 家宅舎齋

くさくさ 對屋

くさくさ 桃

くさくさ 誇甲定

いぬい 柵
いぬい 瑞籬

いぬい 築地
いぬい 築地

いぬい 透垣
いぬい 透垣

いぬい 網窺
いぬい 網窺

いぬい 類
いぬい 類

いぬい 纒冠具
いぬい 纒冠具

いぬい 天蓋
いぬい 天蓋

いぬい 線鞋
いぬい 線鞋

いぬい 袴
いぬい 袴

いぬい 袴
いぬい 袴

いぬい 袴
いぬい 袴

いぬい 袴
いぬい 袴

いぬい 袴
いぬい 袴

いぬい 袴
いぬい 袴

いぬい 袴
いぬい 袴

いぬい 袴
いぬい 袴

いぬい 袴
いぬい 袴

いぬい 袴
いぬい 袴

いぬい 袴
いぬい 袴

いぬい 袴
いぬい 袴

くい 海 杭

らり

鯛子

らり 孔 緋 物

らり

孔堂 金堂 赤堂

らり 礼 盤 孔盤

らり

敷板

らり 櫛 多

らり

衛重 葉重

らり 切 板 俎

らり

簇

らり 檜 笥

らり

平題 矣

らり 家子照

やぶらり

らり 常規 徳文 集 常 損 太 子 傳

らり 常 酢 羅 生 船 太 子 傳

らり 簞 簞 雙

檜 槌

らり 粉 粧 一 々

らり 縹 淨

らり

鐔 甲 照

らり 色 軟 練

らり 帯 釵

らり 齋 經 眞 証 顛 一 枕 孝 忍 王 名

らり 看 皆

らり

母 一 官 虎 赤

らり 日 上 佛 在 不 母 佛 事

らり 幸 福 祐

らり

警 言 禁 戒

らり 枕

らり

固 辭

らり 警 終 物

らり

訪

らり 腹 怒 念

らり

糸

海 射 一 毛
海 蒸 柳 炒 熟 一 豆

日 茶 一 毛
日 導 言 院 言 云 日 導 侮 稍

三 心 心
罪 夫

い け け
雅 雅

あ の 者 一 毛
憎 亞 疾 活 成 一 毛

ち い 一 毛
小 舟 揚 弓

い け け
勝 勢 怒

つ い 一 毛
終 遠 竟 誓 古

あ い 一 毛
光 餅 根

ま い 一 毛
牧 陸 裝

あ の 一 毛
負 妹 愈

い い 一 毛
鼻 負 目 毒 一 毛

い い 一 毛
鼻 負 目 毒 一 毛

い い 一 毛
鼻 負 目 毒 一 毛

い い 一 毛
鼻 負 目 毒 一 毛

い い 一 毛
鼻 負 目 毒 一 毛

い い 一 毛
鼻 負 目 毒 一 毛

い い 一 毛
鼻 負 目 毒 一 毛

い い 一 毛
鼻 負 目 毒 一 毛

いさよし 誘り言向

いさよし 誘り言向

いさよし 不審 文集云 未審 夢如

いさよし 火 求食火 万葉集 火之廻り 火日本紀

いさよし 早曉 何為

いさよし 辛心 氣烟

いさよし 可畏 辛

いさよし 無心意 至

いさよし 寂健 後物よりなり

いさよし 不令如嫉

いさよし 致 朔日

いさよし 難渡 被用

いさよし 只暫 古今并 六帖 奇ホニアリ

いさよし 葉月明 行方 万葉云 白雲之

いさよし 弾琴 之 引ト七横ト七云 海白物 終ニアリ

いさよし 汗 汗 務物よりなり

いさよし 強顔 強面

いさよし 媚弱 飛阿娜 次

いさよし 終付 次

すいて 透羞也 すいて 吸吮也

すいて 深細也 すいて 御年田也

すいて 遊常 すいて 初冠叙爵也

すいて 殿上侍臣 名對面

すいて 小治身義也

すいて 伶人樂也 一 醫師

すいて 下家司院目共也

すいて 教員 揚名分

すいて 中河門控也

すいて 階下也

すいて 内教坊 加階

すいて 名交 帝王

すいて 曲水宴三月三日也 賜爵也

すいて 追儼除目録也 十一

すいて 御撰行幸

すいて 御製 いみれ 諱猛

すいて 緩急 すいて 急務

すいて 代官 すいて 對捍

すいて 右後 有藏 笑能

すいて 探題 三形也

くまの 火災

まのや

雲迹

すいり 瑞相

あいのい

嬰孩

あいのま 栄耀

ていせい

朝廷

けいせい 栄嬬 遊仙窟在

せいせい 性

せい

又文章

きやうい 境界

えいせい

映徹

たいせい 神體

あいのす

縁

あいのふ 優

いりせい

若湯水

いりのり 稻荷

あいのま

道祖神

いののこ 稻手石神

あいのま

紫外石

いりのり 祝のり

あいのま

若湯水

あいのり 生松系

あいのま

生田浦

あいのり 吹飯

あいのま

行香保活

あいのり 平珍川

あいのま

不知哉川

あいのり 濱小川

あいのま

濱水

あいのり 行吟

あいのま

生駒山

あいのり 大官

あいのま

大官殿

あいのり 大官殿

あいのり 尚侍典侍

あいのり 優婆塞

あいのま

齋院

いづれか 道令法師

かゝい 更衣 后の准之別殿より后之入道武成帝

時ヨリ始ナリ

いづれか 系性師 妹

いづれか 妹 父母

いづれか 母 再後父也

いづれか 後父也 姉

いづれか 姉 弟

いづれか 妻子 帝範

いづれか 待賢門 今観水

いづれか 電

ハ ぬる井遠来

いづれか 雲居 田為子 為半

いづれか 蘭草 澁

いづれか 藍 牛膝

いづれか 紅 椎葉

いづれか 若草 標

いづれか 鯉鮎 鱒 鱒

いづれか 馬鬣松 童子松

くわれ 水鶏電を わりの 守宮 はむま

この 木居 鳥来居 きりのくひを 木居居

わの、 豚 ぬ 諸惣王知 わの

わの、 十月 文見餅 十月 文目

くはれぬ 無胃 わの 餅

わの、 朝 餉 信冷致 わの

わの、 筋 筋 胡録 簾

わの、 餉 餉 又 振食 飯 十リ

わの、 宥 直衣 宥 直致 居

わの、 二 藍 摺 衣 衣 十リ

二わの、 二 藍 小掛 衣 十リ

わの、 小 針 新 枕

わの、 用 扇

わの、 酒 強 勸 酒

わの、 育 育

わの、 笑 笑

わの、 居 居

わの、 居 居

わの、 居 居

わの、 居 居

七風しちふうり井 瓦長ゐなが叙じゆ居

おさり 膝ひざ居ゐ云いはるる あり 船ふね ありあり

おしおしささままるる じじるる ありありははるるははるる

しかり 断つぎ はるるのてよ 志しののひ 痛いた 病びやうくくのの病びやう

おさ入 胃い腑ふ よよありありつつきき 胃い境けい法ぽう

わわららししりり 癰うみ瘡そう くくのの病びやう

わらひ 牝め耳みみ のの病びやうくくのの病びやう 小せう井けいののき 泉いづみ居ゐ信しん

ああららわわし 女め流りゅう 女めけけいい 井けい析しつ

わしわし 虎こ目め執しつ権けん勅てつがが當たう下げ上じやう當たう 本ほん者しや不ふ六ろく杖じやう

ううめめわわい 壹いつ子し 万まん葉えつ はるるのてよ 壹いつ女め はるるのてよ

一いつありありかかままいいふふ 一いつ位ゐ至し八はち位ゐ

くくららぬぬ 位ゐ くくららぬぬ 位ゐ 位ゐ

わわ井けい 韓かん

うう井けい 鹿か井けい 鐘かねのの病びやう 山の井 小井

いいままいいるる 常じやう盤ばん井けい ありありののめめ 縣けん井けい戸こ

いいぬぬののめめ 玉たま井けい ありありののめめ 池いけ城じやう

すすままいいれれるる 縁えん持ぢ田でん井けい

ああすするるめ 形かたちをを井けい 古こ新しんくく催さいるる未みままるる

いいぬぬののめめ 男おとこ井けい戸こ ありありののめめ 壘れい城じやう

おおめめるる 大だい井けい川せん つつままいいれれるる 筑ちく波は田でん井けい

あけぬら 吹飯河

おてはる浦の 井出氷

おれのお 猪名野

おすまの 平南野

こうぬくさぬ 酒井人真

おしよおし 井上太吉

おしやうぬらう 小井戸

おしくしお 貞外

おき井のり 起原星

おき 園遠

おき 委趣 意甄

おき 鶏柄 相多 辰

おき 三井寺

おき 乾

おき 通入 障子 紫衣 敷のり

おき 中の 園の やしの 名く 又 多 居 障子

おき 香椎宮

おき 保中 帆 穂 甫

おき 虚空

おき 檜

おき 酸漿 薺

おき 直本

おき 帝 範

すれが 博直 ころ 棹 檣 架

ふりり 礮 鷲 鳥 用水 鳥

かきり 息をの ころの 右に 既 難い

おれり 白鷹 ころひ 杷 ハチノミトヨ

わけの 素より 緋 袴 舟 鏡と せうり あり

まじり 人々 真 帆 人 ころり ころり

ゆりの 衣 同 道 衣 ころり ころり

りのが 炎 焰 焔 ころり 手 袖 可 覆 袖

おれり ころり 川 卷 額

やま ころり 淨 無 太 氣

ころり 通 徹 融 ころり 細 整

よめり 白 苜 ころり 香 白 蕙

りころり 務 威 ころり 比 旬 ころり

ころり 潤 潔 ころり 糖

みころり 操 ころり 雨 細 珠

ころり 袖 洞 袖 ころり 伝 ころり

ころり 類 ころり 直 生 ころり

かきり 心 牧 枕 ころり 貝 容

ゆころり 相 いあふり

なめり 真 人 ころり 依 保 姥

こほのた〜 越之尾 大坂の月夜 脱月夜

おほの〜 国白宣言

おほの〜 公 ともとのあ 交通作

おほの〜 組又 ともとのあ 正親司

おほの〜 大倉入寮

おほの〜 大蔵省 ありつゝの 大京小臨

おほの〜 大省直 ともとのあ 大守殿

おほの〜 正親町 一と二一 一入二入

おほの〜 邑東表

おほの〜 大津町の濱

らひの〜 稲刈入 ともとのあ 越後果

おほの〜 塩竈浦 ありつゝの 鴻信殿

おほの〜 康塩 小つての海 阿熊海

らひの〜 潮 ともとのあ 行巻保派

おほの〜 澹真 ともとのあ 大倉浦

おほの〜 大河邊 ありつゝの 大塩川奪

おほの〜 佐保河系 みるらるゝ 長保崎

こほの〜 三保松系 ひえの〜 比叡大高

おほの〜 大踏 ありつゝの 大石船

おほの〜 大津屋 ありつゝの 大津屋

くらりのてらり 赤糸言直 古巻

くらりのてらり 宇津保物語

くらりのてらり 大観車 くらりのてらり 大直記

くらりのてらり 唐廬 くらりのてらり 草菴

くらりのてらり 國郡 くらりのてらり 氷凍

くらりのてらり 飛法禁中の行務 くらりのてらり 椰子抄

十の俣倭和玉

のつら 野分 慕風 くらりのてらり 慕風

くらりのてらり 早蕨 くらりのてらり 須磨海舟

くらりのてらり 俣隈舟 すまのてらり 俣輪舟

くらりのてらり 三俣組

くらりのてらり 妙若若 くらりのてらり 難見分

くらりのてらり 髪 くらりのてらり 車片俣

くらりのてらり 川俣者 頭者

くらりのてらり 鐵輪 ひまのてらり 松破子

くらりのてらり 為 こまのてらり 俣舟

くらりのてらり 仕徳平 きりのてらり 稚日の記後之

くらりのてらり 人 弱 くらりのてらり 親人 神事抄

くらりのてらり 親王 くらりのてらり 三俣抄

直度 直度
 戸直度直 戸直度直
 童部 童部
 響願 響願
 分首 分首
 別 別
 後 後
 辨年 辨年
 私 私
 若枝回 若枝回
 命 命
 倫遠 倫遠

十一は波し、冬、中、端、葉
 響 響
 響 響
 響 響
 響 響

わし雪 沫雪 万葉 わし 沫泡沍
 小つらつと 凛 小つら 燎 庭火
 小は 庭場坪 小つら 澤 旱 照
 妙のつらつと 富士の澤
 ひろさつれいけ 産澤池 小つら 汗
 なつと 毘汗陌 小つら 酢漿 別度
 小つら 柏 小つら 若 柏 万葉
 小つら 朴 柏 小つら 樟 梅
 小つらのすき 横川 杖
 すき 蕨 杖 杉 万葉
 小つら 萩 杖 杉 万葉

多摩川
玉帯

あし 粟
あつらひ 木栗

ぬきは 尊
かふひ 檜縄

なし 縄索
はたけ 縄

こつ 俵
くさ 鉄

かし 皮革
ひし 兜

しし 索
かりけ 土器

ふひ 器
うらき 鞍

ふりき 款
つらき 余

こり 障
し 女

こつ 童
まろ 娘

こつ 瘧病
あつらひ 石

あつらひ 御
あつらひ 杖

あつらひ 坂
あつらひ 鹹

あつらひ 射
あつらひ 砲

あつらひ 幸
あつらひ 矢

あつらひ 憐
あつらひ 櫓

あつらひ 阻
あつらひ 紀

あつらひ 餅
あつらひ 障

あつらひ 交
あつらひ 極

いしけり

稚

あしく

淡今友

あつこ

固章

あきつ

鑑賸

あしけ

燬

あしけ

粟霏華

あつら

撰籍譜 妄撰

こし

強剛健

こし

巖室宗

あつこ

柔和軟矣穩

くろく

委

くろく

玉冠春

こつや

爽正

あしけ

代替

あつこ

携

あつこ

祖介

あつこ

率余

あつこ

纏

あつこ

軟表露形

あつこ

取廻

あつこ

通

あつこ

合舟

あつこ

言路

あつこ

理度

あつこ

企鼓

あつこ

戯

あつこ

易紀

あつこ

先不

あつこ

寝

あつこ

耳

あつこ

表書

あつこ

統宗

あつこ

横川

あつこ

葉

破神

かつや	廁園	ひつぎ	檜枝膏
あつら	栗田口	あつら	栗津野
いんが	若瀬	こつら	木場山
きんぎ	きんぎ	とつら	吉野川
あつら	十二月	ひつぎ	枇杷木
いんが	河		

十二 己亥 無元九 癸年
 ひつぎ 宜山 宜山 宜山 宜山
 ひつぎ 宜山 宜山 宜山 宜山
 ひつぎ 宜山 宜山 宜山 宜山

ひつぎ	理水	ひつぎ	理水
ひつぎ	仕舞	ひつぎ	鳥羽
鳥羽	鳥羽		
まこら	暫之寝	ひつぎ	大集
ひつぎ	意は	ひつぎ	生屋
ひつぎ	切	ひつぎ	祖母
ひつぎ	生侍	ひつぎ	義角
ひつぎ	孫	ひつぎ	鳥梅
ひつぎ	美地	ひつぎ	新棘
ひつぎ	都子	ひつぎ	北馬

ひんき	馬	鏝	彈	輔
ひま	馬	約		
ひま		了	梳	
ひま		馬	槽	
ひま		驛	治	
ひま		牧		
ひま		馬	狂	
ひま		馬	衣	了
ひま		人	圍	
ひま		驛	長	
ひま		張	里	
ひま		既		
ひま		馬	啟	
ひま		了	覓	

十三 卯有得拜物
 わさうわう 澆冥 冥海

み	湖	脚	留	音
こ	細	物	法	令
く	萱	草	美	蓉
か	苧		菓	菓
か	加	波	鵲	
か	姦	甲	黃	牛
か	持		犢	
か	鋒	牛	豹	
か	帖	置	天	井

伊豫物類

志し子

ひひ子

屏びん丸

志し子

十じゅう子

帖てい双じゅう海かいのの子こ

志し子

志し子

志し子

志し子

志し子

馬ば腦のう

志し子

志し子

唯ただ黄わう

志し子

志し子

綺き女にょ度ど子こ

志し子

志し子

証しやう教きやう

志し子

志し子

琵琶びば槽そう

志し子

志し子

廣くわう陵りやう教きやう儀ぎ

志し子

志し子

玉ぎよく光くわう

志し子

志し子

假か統とう化け粧しやう

志し子

志し子

緑りよく衣い緑りよく息いき

志し子

志し子

信しん堤てい

志し子

志し子

青せい子こ色しき袴かほ

志し子

志し子

料りやう細せ

志し子

志し子

姑こ

志し子

志し子

芳ほう

志し子

志し子

楊やう枝し

くわいご 積鼻禪

くわいご 襪子

ふいご 舟一艘

ふいご 船君

すわご 籟枋

すわご 御曹白

つらご のまごりきご

つらご 柁平定

たご 柁 大守

たご 相人

とご 柁のみのみご 九河田新恒

のしご 柁のり 文人擬生海

あご 柁 附趾躡

あご 高築人

かご 柁 羨被

かご 用途

あご 柁 穴徳目

あご 葬

あご 柁 女名

あご 日記

むご 柁 轟

むご 下習

なご 柁 貫

なご 書伝

すご 柁 女名

すご 心教

てご 柁 水

てご 設儲

あご 柁 寂煩

あご 方恩

うご 柁 嬉怡

嬉怡 歡花

こご 柁 好

こご 研屏

うご 柁 温入

温入 天子御

まゝなひる 於河 雅切 雅切 雅切 雅切 雅切

あつう 傾 傾 傾 傾 傾

あつう 強 強 強 強 強 創 極

いあや 雅切 雅切 雅切 雅切 危

いあや 疾 疾 疾 疾 疾

あつう 辛 辛 辛 辛 懶 倦

あつう 而 而 而 而 怒 怒

あつう 雅切 雅切 雅切 雅切 微

あつう 漸 漸 漸 漸 莽 有

あつう 驚 驚 驚 驚 氣 亂

あつう 不 不 不 不 澆 澆 澆 澆

あつう 消 消 消 消 料 理

あつう 包 包 包 包 令 法

あつう 雖 雖 雖 雖 牢 辭

あつう 人 人 人 人 聖 廟

あつう 苗 苗 苗 苗 道 場

あつう 擁 擁 擁 擁 法 文

あつう 八 八 八 八 法 法 法 法

夕つゝ	夕附夜	夕附夜	夕附夜
夕つゝ	夕去	夕去	夕去
夕つゝ	長庚太白星	長庚太白星	長庚太白星
夕つゝ	日月	日月	日月
夕つゝ	非廻浪	非廻浪	非廻浪
夕つゝ	浦添本綿	浦添本綿	浦添本綿
夕つゝ	達生	達生	達生
夕つゝ	蘆指生	蘆指生	蘆指生
夕つゝ	御子	御子	御子
夕つゝ	本傳	本傳	本傳

十四 不夕女府普凡技

夕つゝ	夕附夜	夕附夜	夕附夜
夕つゝ	夕去	夕去	夕去
夕つゝ	長庚太白星	長庚太白星	長庚太白星
夕つゝ	日月	日月	日月
夕つゝ	非廻浪	非廻浪	非廻浪
夕つゝ	浦添本綿	浦添本綿	浦添本綿
夕つゝ	達生	達生	達生
夕つゝ	蘆指生	蘆指生	蘆指生
夕つゝ	御子	御子	御子
夕つゝ	本傳	本傳	本傳

十四 不夕女府普凡技

きのみ 株

めのみ 和布草紙

まのみ 園生苑生

うのみ 栽植種

みのみ 御園生

おのみ 生

かきいのみ 笠燈云

あのみ 逸 補

はきのみ 実人とうり

ふのみ 飼 多犬と養ナリ ひのみ 扣るとのりナリ

いのみ 技の法のありく 何のみ 麻翁笠等

あのみ 沼障 りりりり このみ 胡蝶

まのみ 蝶 比類

のびのみ 呪咀

きらのみ 姪

けらのみ 結於軒蛙胡契 何の物ナリ

きらのみ 脂 白ト

あのみ 振揮震 少のみ 駢

あのみ 徳 推乃列

あのみ 惜持 比敷松

あのみ 於孫寛後初 加

あのみ 更 衣とより 買 くらみ

あのみ 喻 譬言 比敷属

あのみ 盥 澡 洗濯洗除

かえり 金具
あきり 膳
こり 捕
そり 添副信
こり 俾
はり 療
まき 辨
やま 敬恭
しる 給賜湯
あき 命宣曰

かえり 懋取圍
ひろ 拾採
くろ 貯蓄資
たけ 限部知付
り 聖盟
はり 償
のり 抵揮結
そり 孫容損
あき 興
あき 叶稱合

とろ 仕事使
かき 教算
ひり 無語答
あき 煖熱
あき 籠
あき 吟
あき 能細
あき 白外

はり 膏
あき 箱艘
あき 侍候
あき 車陣
あき 馴
あき 伶俦
あき 損進
あき 雇
あき 呼喚
あき 習効学

目々 咲 咲 園 言 小 小 荷 擔

よ よ 装 阿 阿 和 在 研

も 囉 囉 母 餉 そ 伎 具 饌

う 其 恣 恣 恣 倒 僵 卧

う 其 斃 斃 牛 死 痿 痺 の 痛 苦

か 其 其 其 救 救 救 振 作

ま 其 不 不 不 放 放 放 意 甲 斐

う 其 貴 貴 尊 於 於 於 袖 覆 袖

久 其 其 其 其 狭 細 在 者

わ 其 其 塵 將 膾 中 其 其 其 其 其

行 遠 元 通 路

工 其 其 其 赤 土 小 屋 万 葉 集

阿 其 其 其 阿 其 其 其 其 其 其 其 其

わ 其 其 其 其 其 其 其 其 其 其 其 其

工 其 其 其 其 其 其 其 其 其 其 其

其 其 其 其 其 其 其 其 其 其 其

其 其 其 其 其 其 其 其 其 其 其

三條西殿

前在太皇太后御書

寫本云

廿一冊小信結巴以較多之本考劫之所
謬於有之先哲言校書如塵埃風葉隨
掃植有之可俟後君子而已

天文廿一重陽前日記之 稱為野釋 西刻





